



# 和坂小学校3年生の 桜守パネル展

- わさかっこ桜守プロジェクト -



2025年  
3月20日(木)~26日(水)  
9:00~16:30

\*初日は 11:00 から  
\*最終日は 16:00 まで



## 桜守(さくらもり)とは…

桜の代表格「ソメイヨシノ」。江戸時代末期に誕生した品種で、第2次世界大戦後、復興シンボルとして東京オリンピックを機に全国に植樹されました。しかし、近年、樹勢が著しく衰え始め、ソメイヨシノは全国的な危機を迎えています。「さくらの名所100選」に選ばれている明石公園や和坂小学校のソメイヨシノもまた同様です。現在、樹木医さんを中心に樹勢回復のため、3年生児童やまちづくり協議会のサポート隊による活動が展開されています。

兵庫県立 **明石公園**  
**パークギャラリー**  
(サービスセンター内)

# これまでに メディアで 紹介された 桜守活動

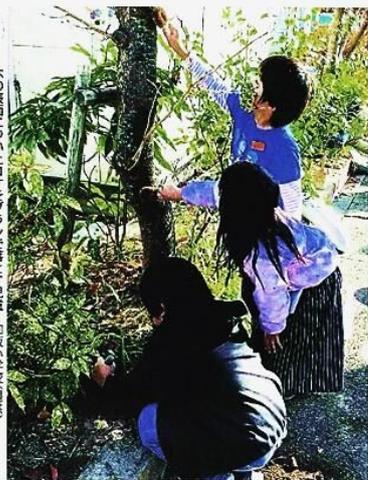
和坂小学校（明石市和坂2）の3年生59人が、明石公園や校内の桜の世話を担う「桜守プロジェクト」に挑戦した。樹木医から樹勢を回復させる方法を学び、身近にある木々

を通して自然保護について考えた。明石公園パークギャラリーでは、活動を記録したパネル展を開催している。

（川崎恵莉子）

## 桜の世話で自然保護学が

### 3年生59人 校内や明石公園で挑戦



木の表面に白いコゲをブラシで落とす児童＝和坂小学校（提供）

### 活動記録パネル展も公園内ギャラリー

年間を通して行ってきた環境体以上あった。この年で4年生の一人、担当の河合本が枯れ、残りの多くの木は健康状態が明石公園の。も害虫の被害を受けて桜守の活動を知ったことを。学校は班ごとに木をきつかけに、2020年度一本ずつ選り、幹や枝の弱り具合、葉のつきなどを明石公園に約400観察、地域住民協力しな本のあるが、樹勢が衰から、根元付近の土をスコップで掘り、樹木医やボランティアが定期的に調査や切りを行っている。見木が呼吸しやすいように表裏を削り、土の中に竹筒を埋め、土の水分を蒸らす。また、昨秋から明石公園落しに切り、土の中に竹筒を埋め、土の水分を蒸らす。また、昨秋から明石公園落しに切り、土の中に竹筒を埋め、土の水分を蒸らす。



校内に新しく作った遊歩道＝和坂小学校（提供）  
木に空気を採集する土の中にも竹を埋める＝和坂小学校（提供）



桜守の活動をまとめたパネル展＝明石公園パークギャラリー

石公園や校内での活動を、午後4時半、最終日同

▼ 神戸新聞(2024/02/05)



絵画を制作する過程を児童にみせる絵本作家のたなかしんさん＝和坂小学校

## 校舎に壁画 動物描く姿公開

### 和坂小で絵本作家たなかしんさん

児童からリクエストも

明石市の絵本作家たなかしんさんが2日、和坂小学校（同市和坂2）で壁に絵を描く様子を見せる「公開アート」の特別授業に臨んだ。子どもたちは校舎の壁が彩られていく様子を見守りながら、多くの質問を投げかけた。

公開アートは同校の恒例行事で、これまで紙粘土作家や段ボールアート作家を招いている。今年と同校の児童が桜を害虫などから守る活動「桜守」をテーマに制作を依頼した。同校2階ホール（壁の一面に、白い板を敷き詰めてキャンバス代わりにした。たなかさんは始業から制作し始め、その様子を全学年の児童が交代で見学。桜の木にリスやコアラ、ゾウなどが集まっている絵を、時間ごと完成させた。たなかさんは、子どもたち

▲ 神戸新聞(2022/03/25)

## 和坂小児童 桜保全に挑戦

### 3年生40人がパネル展 観察や腐葉土づくり

県立明石公園のパークギャラリーで、和坂小学校の児童が製作した桜の観察や「わさかこ」桜守プロジェクトに関するパネル展が開かれた。20日まで。



和坂小学校の児童がまとめた桜のパネル展＝明石公園

同プロジェクトを主導した河合健次教諭（54）は「子どもたちは楽しんで活動していた。桜や虫、人などの共生について考えてもらうきっかけになれば」と話した。（有富晴貴）

▲ 神戸新聞(2023/03/29)

NHK放送  
「リブラブひょうご」  
(2024/04/11)